

ユネスコ無形文化遺産

国指定重要無形文化財

組踊

沖縄の伝統芸能

特別鑑賞会



組踊 (くみうどい) とは

せりふ、歌、踊りを組み合わせた沖縄の伝統的な歌舞劇です。沖縄が琉球王国であった時代の1719年に中国皇帝の使者を歓待するために初演されました。以来、今日まで継承されています。組踊は、日本の能楽や歌舞伎なども取り入れて創作され、国指定重要無形文化財とユネスコの無形文化遺産になっています。

第1部 琉球舞踊・組踊 「花売の縁」
第2部 ハナウリ エン
〔セリフ等の解説・字幕付き〕

入場無料
(全席自由)

招待券配布

※入場招待券が必要です
6月30日(日)より
配布します。



<https://www.chutan.or.jp/>

9月29日(日)

14:00開演 (開場13:30)

※駐車場に限りがあります。乗り合せの上お越しください。

主催：一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会
公益財団法人京都府中丹文化事業団

後援：綾部市教育委員会

入場招待券取扱場所

【京都府中丹文化会館 各プレイガイド 綾部市図書館】

入場招待券は、「郵便往復はがき」「中丹文化会館サイト」からでもお申込みいただけます。

※入場招待券1枚につきお1人様ご入場いただけます。

※入場招待券は無くなり次第、配布を終了いたします。

※小学3年生以上の方を対象としています。

■会場・お問合せ

京都府中丹文化会館

綾部市里町久田21-20
☎(0773)42-7705

組踊

ユネスコ
無形文化遺産記載
2010年11月16日

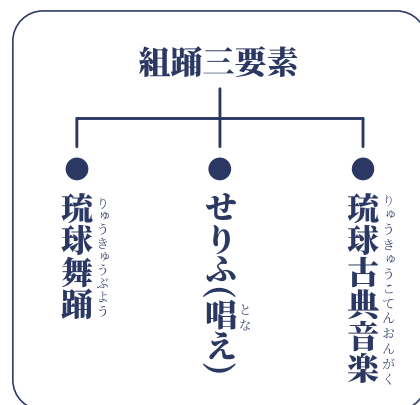
国指定年月日
1972年5月15日

保持団体
一般社団法人伝統組踊保存会

組踊は、琉球古語によるせりふ(唱え)を中心に、琉球舞踊、琉球古典音楽で組み立てられた沖縄独自の歌舞劇(演劇)です。第二尚氏十三代の尚敬王が冊封使(琉球の国王が代わるごとに、中国の皇帝から国王として認めてもらうための使者団)をもてなすため、踊奉行であった玉城朝薫に命じて創作させたものがはじまりです。

初演は1719(康熙58)年の冊封式典後の重陽の宴で、「二童敵討」と「執心鐘入」が首里城で上演されました。その後、玉城朝薫は「女物狂」「銘苺子」「孝行の巻」を創作し、これらの作品を「朝薫の五番」あるいは五組といっています。以後も数多くの組踊が創作され上演されました。

組踊は琉球芸能の中でも、その芸術性や芸能史上の価値からも重要であるばかりでなく、日本の芸能全般を広く考える上においても特殊な地位を占めているため、能楽や歌舞伎、文楽(人形浄瑠璃)と同じように国指定重要無形文化財になっています。さらに、2010(平成22)年にはユネスコの無形文化遺産「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」にも記載された、沖縄が世界に誇る伝統芸能なのです。



入場招待券の入手方法 ①直接窓口で受け取り ②「郵便往復はがき」申込み ③「インターネット」申込み

① 直接窓口で受け取り (無料で配布します)

京都府中丹文化会館、中丹文化会館各プレイガイド、綾部市図書館

② 「郵便往復はがき」で申し込む 往復はがき1枚で2名様まで申込みます・1名様1枚に限りです。

「郵便往復はがき」(私製を除く)に以下を記入してお申し込みください。

【往信用裏面】① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名 ④ 電話番号 ⑤ 観覧希望人数(1人か2人)

【返信用表面】① 郵便番号 ② 住所 ③ 氏名

【返信用裏面】何も書かないでください。(招待券を印刷して返送します。)

○あて先：〒623-0005 綾部市里町久田21-20 京都府中丹文化会館「組踊 特別鑑賞会」係

○募集期間：9月13日(金)必着分まで

※「郵便往復はがき」以外での応募や、ご記入に不備があった場合は無効になります。

③ 「中丹文化会館WEBサイト」から申し込む

<https://www.chutan.or.jp>の「組踊 特別鑑賞会」のページからお申込みください。

※ 入場招待券が予定の配布数に達した場合、締め切り前でも配布を終了する場合がございます。

